

わる気と感動

学校だより 11号

平成29年

7月6日(木)

6月30日 人権教室 開催

6月30日、期末テスト終了後の5・6校時を使い、峡南人権擁護委員協議会主催による、人権教室が開催されました。最初に映画「アミスタッド」(スティーブン・スピルバーグ監督作品)を20分ほど鑑賞しました。

1839年にスペイン籍の奴隷輸送船で起こった乗っ取り事件と、それに関連してアメリカ合衆国で行われた一連の裁判について映画化したものです。その一部を視聴したのですが(英語版で)、実話に基づくストーリーで、人としての扱いはされず、奴隷として扱われ、暴力を受け、命を奪われるなど、それはとてもショッキングなものでした。目を背けたくないようなシーンもありました。全ての人間が生まれながらに所有する基本的人権、『自由』を得るための闘いを描いた作品でした。今まであまり学習してこなかったジャンルの『人権』を扱う内容だったので、生徒たちにも心に深く残ったと思います。

その後、人権擁護委員さんによる会話劇で、映画の振り返りをしたり、実際に自分が「人権」を無視されたりした場面を考えました。数名の生徒が、映画の感想や自分の体験を発表してくれました。

10分ほどの休憩後、「いじめの直し方」(朝日新聞出版)の本の一部を、30名の生徒で朗読しました。内容は、いじめの生まれ方やエスカレートする様子などの、『いじめの仕組み』、『いじめの損害』『ネットによるいじめ』に関するものでした。また、南部中生徒会のいじめへの取り組みの発表なども行われました。

司会の島田さんたちの上手な進行により、集中した中で有意義な意見交換ができました。(ちなみに島田さんは私の大学時代の同級生で、数年前まで中学校の教員でした。)

一人ひとりが感想を用紙に記入していたので、ご家庭でもお子さんの感想を是非聞いてみてください。

人権擁護委員さんから、『よく2時間集中していた。』『真剣に考えているようだった。』『ここ数年実施している中学校の中で、一番良い人権教室だった。』などの評価をいただきました。

今日、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたこと、行動に移そうと決意したことなど、しっかりと心に刻んでおきましょう。

== もうひとつの七夕 == 甲府空襲の話

昭和20年(1945年)7月6日の深夜から7日にかけて、甲府市中心部が空襲にあいました。甲府を襲ったのは、131機のB29でこの空襲はわずか2時間でしたが、甲府の街は一部を除いて焦土と化しました。この空襲の犠牲者は1,127人でした。甲府以外にも、甲府周辺、大月・上野原、下吉田が空襲に遭っています。人口が多く工場も集中しているために、空襲の標的となったといわれています。東京、名古屋、大阪、神戸、京都などの主要都市の大空襲が行われ、その後熊本、高知、千葉、清水、和歌山、岐阜、宇都宮そして甲府などの地方都市まで空襲が及ぶようになりました。そして甲府空襲のわずか1ヶ月後、広島・長崎に原子爆弾が投下されたのです。 *三年連続の掲載です。

近年、戦争体験された方々がご高齢となり、なかなか直接お話を伺える機会が少なくなりました。三年生は4月の修学旅行で広島を訪れ、被爆された方から『心からのメッセージ』を伝えていただきました。その後、平和記念公園での献鶴式のなかで『平和の誓い』の朗読と『献鶴』を行いました。『私たちはここに誓います。戦争の犠牲になった多くの人たちの、痛みや悲しみを忘れません。話し合いを大切にして、戦争がない世界を目指します。そしてまずは身近な学校生活を平和なものにしていきます。』(後半の一部)と誓いました。

今年の夏は、皆さんの親戚や地域の方で戦争を体験された方を探して、ぜひ話を聞いてみてください。また、8月6日、8月9日、8月15日には、戦争や平和を考える報道(新聞やテレビなど)がたくさんあると思います。是非その報道に、積極的に触れてみてください。過ちを繰り返さないためにも、平和な社会を築いていくために、何歳になっても歴史から学ぶことは大切です。

南部中ホームページも是非ご覧ください。

<http://www.nanbu-chu.ed.jp>